

第70次福井県学力調査（SASA2021）結果と活用について

1 調査について

(1) 調査目的

県内の児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、学校における児童生徒への学習支援の充実、学習状況の改善等に役立てる。

(2) 調査対象

	参加学校数	参加児童・生徒数
小学校第5学年	188校	6,566人
中学校第2学年	79校	6,611人
合計	267校	13,177人

※小学校188校について

・ろう学校、福井特別支援学校、福井大学附属義務教育学校前期課程の3校を含む

※中学校79校について

・高志中学校、盲学校、ろう学校、福井大学附属義務教育学校後期課程の5校を含む

※識字障がい児童・生徒への対応について

・小学校145名（福井特別支援学校2名を含む）、中学校32名がルビ振り問題で調査に参加

・小学校3名、中学校3名（盲学校2名を含む）が拡大文字問題で調査に参加

(3) 調査実施日

令和3年12月8日（水）小学校（国語、算数） 中学校（国語、英語、数学）

9日（木）小学校（社会、理科） 中学校（社会、理科）

※各学校において、この2日間内に校時を決定して実施。

(4) 調査内容

①基礎力問題

学習した知識や技能が確実に習得されているかを問う問題

②活用力問題

学習した基礎的な知識や技能を活用する力を問う問題

日常生活など様々な場面で適用して解決する力を問う問題

※従来、本調査と同時に実施していた生活や学習、学級に関するアンケート調査は、紙媒体での調査からタブレット端末等を使用した調査に移行し、別日程で実施。

（今年度は、令和3年11月15日（月）から26日（金）に実施）

2 結果について ○良好 △課題

(1) ○指示する語句が指し示す内容の大体の把握（小学校国語）

過去の調査において、指示する語句が指し示す内容を記述することに課題が見られたが、文のつながりや関係性を捉え、内容の大体を理解することができていた。

(2) ○飲料水を供給する仕組み（小学校社会）

飲料水の供給について、浄水場での浄水処理や給水の仕組みを、取水から家庭や学校に届くまでの経路とともに捉えることができていた。

(3) △基準量と比較量との関係（小学校算数）

過去の全国学力・学習状況調査と同様に、基準量を決め、比較量がどれだけに当たるのかを求めることに課題が見られた。

(4) △植物の発芽条件の理解（小学校理科）

既習事項を基に、「いちほまれ」の発芽条件を捉えることに課題が見られた。質問調査では、見通しをもって観察や実験を行っている回答した児童ほど、正答率が高い傾向にある。

(5) ○主語と述語の関係の理解（中学校国語）

過去の調査において、述語に対する主語を捉えることに課題が見られたが、主語が示されない文において、主語と述語の関係を捉え、文章の内容を解釈することができていた。

(6) △時差や北半球と南半球の違いの理解（中学校社会）

会話文から地球上の位置関係を指摘する問題で、時差が生じる基本的な知識や考え方、北半球と南半球の季節の違いの理解に課題が見られた。

(7) △問題を解決するための方法の説明（中学校数学）

今年の全国学力・学習状況調査と同様に、問題解決の方法をグラフや式を用いて数学的に説明することに課題が見られた。

(8) △光の反射の規則性の活用（中学校理科）

過去の全国学力・学習状況調査と同様に、光の反射の規則性を基に、鏡に映った物体の位置を捉えることに課題が見られた。

(9) △技能統合型の言語活動（中学校英語）

日常的な話題について書かれた文章を読む問題で、概要や要点を捉えたり、必要な情報を読み取ったりすることに課題が見られた。

(10) 質問調査との相関について

小学校、中学校ともに、学習に粘り強く取り組み、やり抜く力を問う質問に肯定的な回答をしている児童生徒ほど、各教科の平均正答率が高い傾向が見られた。特に算数、数学ではその傾向が他の教科と比べてやや強く見られた。

また、小学校においては、最近1か月ほどの読書量を問う質問に肯定的な回答をしている児童ほど、各教科の平均正答率が高い傾向が見られた。特に国語、社会ではその傾向が他の教科と比べてやや強く見られた。

3 結果の活用について

(1) 全ての小中学校を対象にした研修動画の配信

課題解決に向けた授業改善案に関する研修動画を作成し、2月7日（月）に教育総合研究所のホームページに掲載する。同日、校長および研究主任等に研修動画についてオンラインで説明し、今後の校内研修等で活用するように依頼する。

(2) 調査結果、分析速報、報告書の提供

1月11日（火）に調査結果を学校に提供した。また、1月20日（木）には分析速報を提供し、各学校が迅速な結果分析を実施できるようにする。さらに、2月下旬に、より具体的な授業改善案等を記載した報告書を提供する。

(3) 調査のポイントの活用

学校へ出題の意図や学習支援の留意点を明記した「調査のポイント」を配付し、調査問題の授業での活用を促進する。

(4) 自己評価の実施

児童生徒に解き方のポイントを記載した自己評価表を配付する。調査終了後、自己評価表を利用した自己採点をすることで、児童生徒による調査の振り返りを実現する。

(5) 研修の実施

1月下旬より、学校や市町教育委員会の要請に応じた授業改善のための研修を実施する。

(6) 記述式問題の分析

児童生徒の解答用紙を研究所で保管することで記述内容を詳細に分析し、今後の授業改善方策について研修等を通して学校に提案する。

(1) 小学校国語

1

問(三)

次の文章の——線部「それ」は何を指していますか。あとの1から4までの中から一つ選び、番号を書きましよう。

砂ばくの植物は、雨が降らず乾燥した環境にたえて生きている。植物に限らず、生物にとって水分は必要不可欠なものである。どうして、サボテンは、水分の少ない砂ばくで生きることができるのだろうか。それについては、たくさん水分をたくわえられるようになっていたりことや、空気中の水分を吸収する力が優れていること、すずしい夜に二酸化炭素を吸収することなどが理由と言われている。

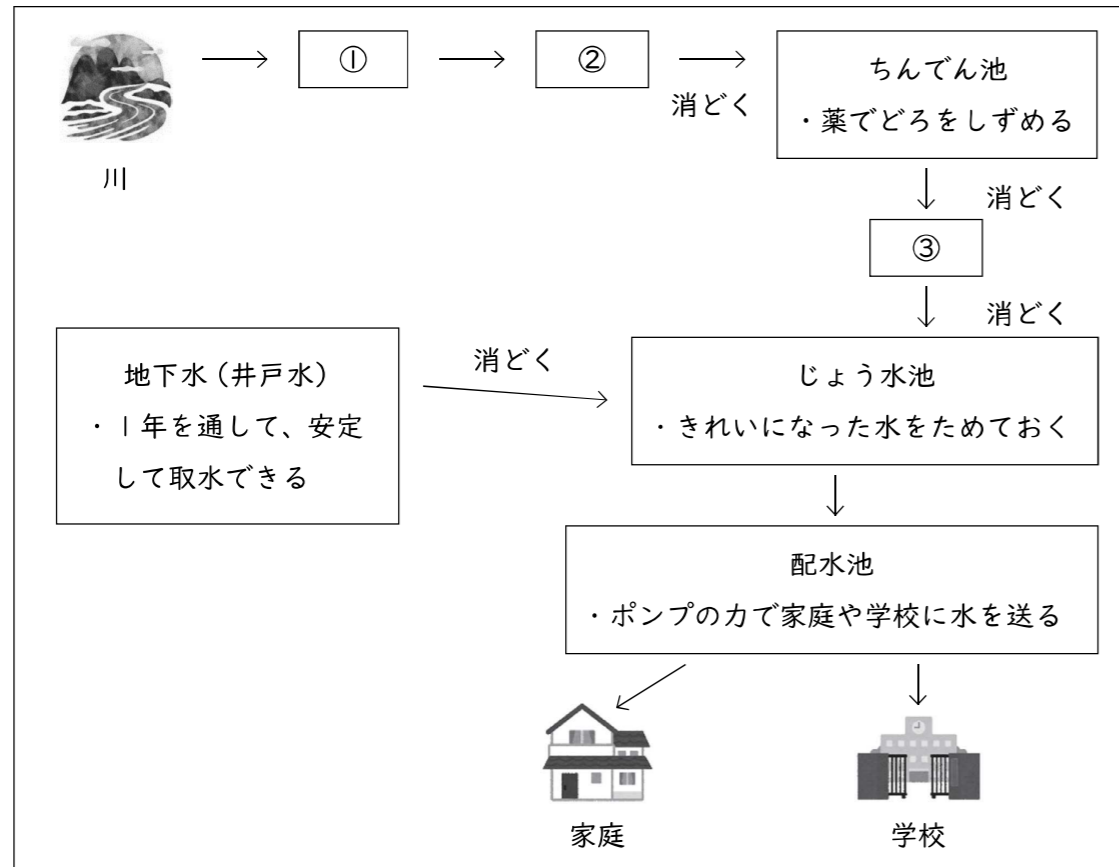
- 1 砂ばくの植物が、乾燥した環境で生きている理由
- 2 植物に限らず、すべての生物に水分が必要な理由
- 3 サボテンが砂ばくで生きることができる理由
- 4 サボテンがたくさん水分をたくわえられる理由

1	6.8%
2	3.7%
3	83.1%
4	6.3%

(2) 小学校社会

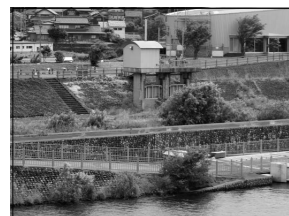
5 次に、さやかさんは浄水場じようすいじようによって家庭や学校に安全な水が供給きようきゆうされていることを知り、次の図のようにまとめました。

図



(2) 安全な水を供給するために、水をどのような順番しゆりで処理しているでしょう。図の①から③には、次の資料Eから資料Gのいずれかが当てはまります。正しい組み合わせを、右のページの1から6までの中から1つ選び、番号を書きましょう。

資料E 取水口



川から水を取り入れる。

資料F ろ過池



細かいどろやごみをすなでこす、「ろ過」をする。

資料G ちんさ池



大きなすなやごみをしずめる。

8.7%

1 ①資料E → ②資料F → ちんでん池 → ③資料G

84.0%

2 ①資料E → ②資料G → ちんでん池 → ③資料F

1.5%

3 ①資料F → ②資料E → ちんでん池 → ③資料G

2.0%

4 ①資料F → ②資料G → ちんでん池 → ③資料E

1.2%

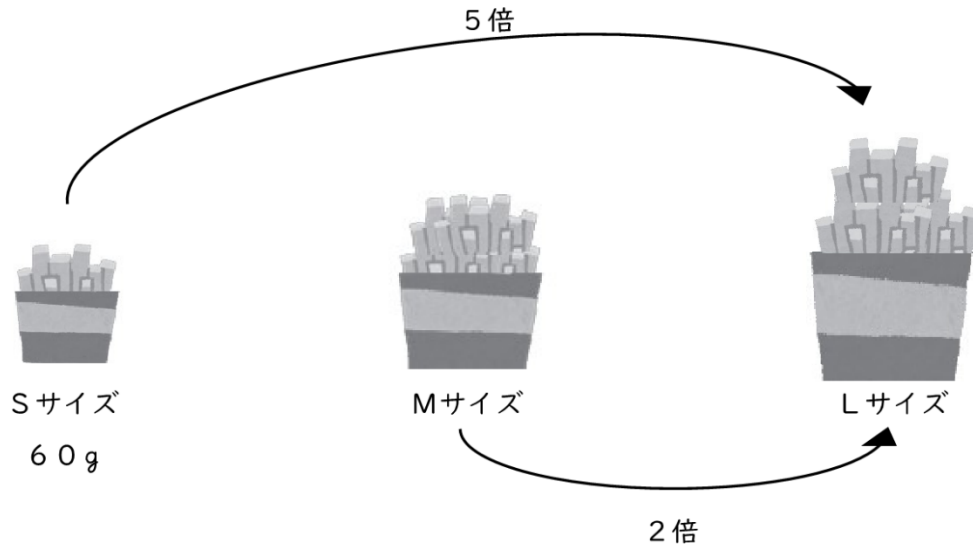
5 ①資料G → ②資料E → ちんでん池 → ③資料F

2.5%

6 ①資料G → ②資料F → ちんでん池 → ③資料E

(3) 小学校算数

9 はなさんとたろうさんは、ハンバーガー店でフライドポテトを買おうとしています。このハンバーガー店には、S、M、Lの3つのサイズのフライドポテトがあります。Lサイズの重さは、Sサイズの重さ60gの5倍で、Mサイズの重さの2倍です。



次に、はなさんとたろうさんは、Sサイズの重さは、Mサイズの重さの何倍にあたるかを考えました。



この場合は、サイズの重さを1として考えればいいね。



Sサイズの重さは、Mサイズの重さの倍だね。

(2) 、に当てはまる言葉と数の正しい組み合わせを、次のアからエまでの中から1つ選び、記号を書きましょう。

	①	②	
ア	M	2.5	22.3%
イ	M	0.4	22.3%
ウ	S	2.5	39.8%
エ	S	0.4	13.4%

(4)小学校理科

- 5 みどりさんとだいちは、給食で食べたことがある「いちほまれ」について話合っています。

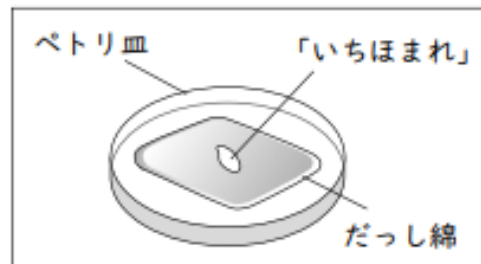


みどり

給食で食べた「いちほまれ」は、イネの種子なのかな。インゲンマメと同じような条件で発芽させてみよう。

インゲンマメを発芽させたことをもとに、だいちさんとみどりさんは、スーパーマーケットで買ってきた「いちほまれ」を使って、図1のように発芽させる実験を行いました。

図1



- (1) 発芽させる実験の方法として必要でないものを、次の1から4までの中から1つ選び、番号を書きましょう。

- 1 日光が当たるように窓ぎわに置いて実験する。
- 2 だっし綿を水でぬらし、かわかないようにする。
- 3 「いちほまれ」を水にしずめず、空気にふれるようにする。
- 4 あたためた室内で実験する。

31.4%

7.3%

13.9%

47.3%



だいち

2週間たったけれど、発芽しないね。種子がでんぷんをふくんでいないのかな。



みどり

ヨウ素液についたら、青むらさき色になったわ。他に理由がありそうね。

(5) 中学校国語

2

父と話した翌日は、風もなく、気温も高くない絶好の自転車日和じよくりになった。雨が降って休んだおかげで体力的にはずいぶん楽になった。父の言葉への反発から気力も取り戻し、山道に向かった。必死に山道を登るぼくを、たくさんのロードバイクが追い越して行く。ぼくにとって大きな壁かべとなっているこの山道は、美しい景色と手頃な距離きよりとで自転車乗りには人気のコースになっているらしい。ギアを軽くして山道を登っていると、「君も展望台に行くの?」と不意に後ろから声を掛けられた。驚いて、「う、うん。」と声にもならない返事をした。

「何回登っても頂上の手前のカーブから辛いよね。それじゃ、お先に。展望台で待まちってる!」
同じ年くらいの少年はそう言うと言事も待たず、スピードを上げてぼくを抜き去っていった。

問(一) 線部A「待まちってる」は誰だれの動作ですか。次の1から4までの中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 父
- 2 自転車乗り
- 3 ぼく
- 4 少年

1	0.7%
2	2.0%
3	2.0%
4	95.2%

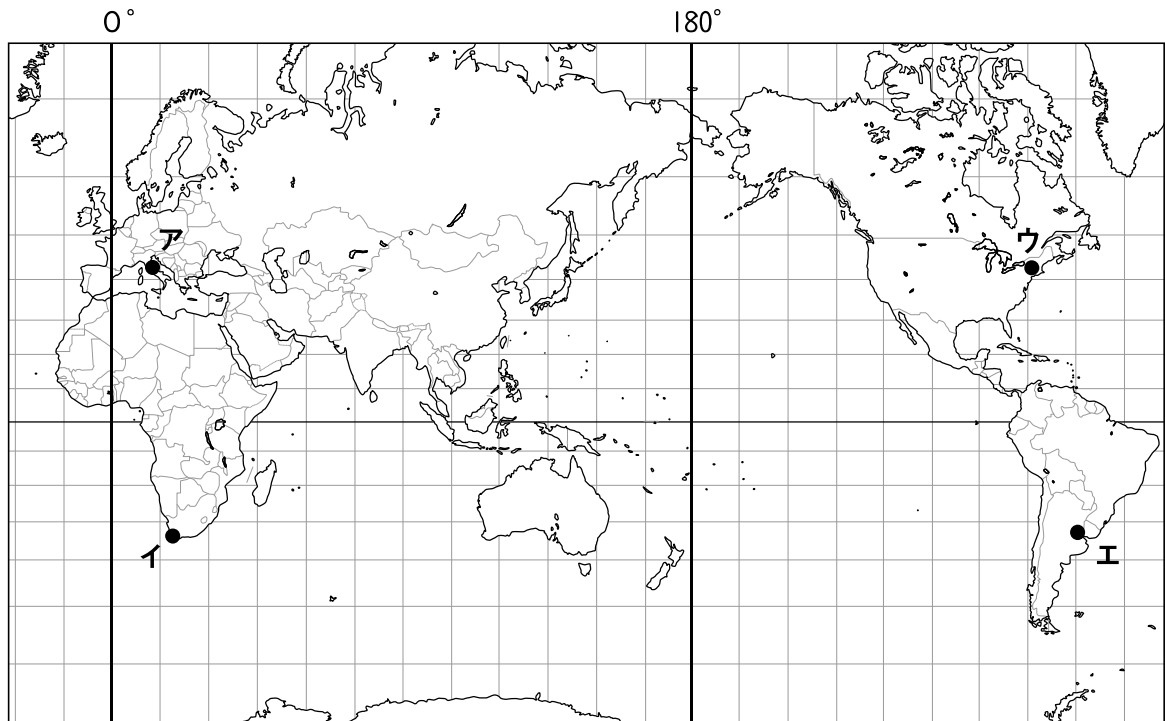
(6) 中学校社会

- 4 福井県に住む太郎さんは、1月30日の午後7時に海外に住む友達の五郎さんとWeb会議システムで次の会話をしています。

会話

太郎 こんばんは。元気。
五郎 うん。元気。久しぶりだね。こちらは今、正午だよ。
太郎 福井は今日も雪が降っているよ。
五郎 へえ、そうなんだ。こちらは1年の中で最も気温が高い時期だよ。

地図



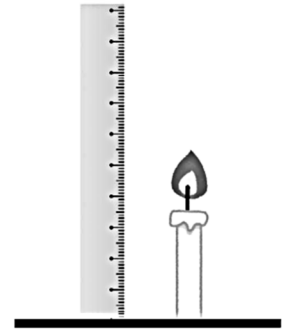
(CraftMAPより作成)

- (問) 2人の会話の中から、五郎さんは地図中のアからエのどこに住んでいると考えられますか。次の1から4までの中から1つ選び、番号で答えなさい。

1	ア	②	イ	3	ウ	4	エ
14.0%	38.4%	11.1%	32.9%				

(7)中学校数学

6 太郎さんは、長さ 12cm のろうそくに火をつけてから経過した時間を x 分、残っているろうそくの長さを y cm として、そのときの様子を表にまとめグラフに表しました。グラフにおいて x 座標が 0 である点を P、 x 座標が 20 である点を Q とします。次の各問いに答えなさい。

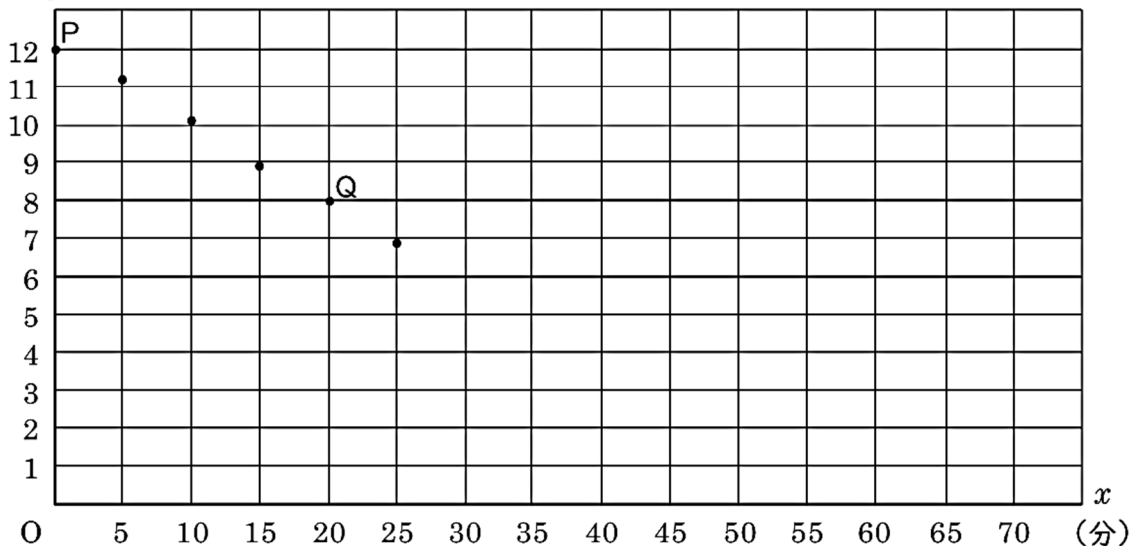


表

経過した時間 x (分)	0	5	10	15	20	25
残っているろうそくの長さ y (cm)	12.0	11.2	10.1	8.9	8.0	6.9

グラフ

(cm) y



太郎さんは、火をつけてから何分後にろうそくが燃え尽きるかを求めようとしています。そこで、グラフに表した 6 つの点が点 P と点 Q を通る直線上にあるものとし、25 分経過した後もすべての点が同じ直線上にあると考えることにしました。

(2) 次の A、B のどちらかを選び、それを用いてろうそくが何分後に燃え尽きるかを求める方法を説明しなさい。A、B のどちらを選んで説明してもかまいません。実際に何分後に燃え尽きるかを求める必要はありません。

A 経過した時間と残っているろうそくの長さの関係を表すグラフ

B 経過した時間と残っているろうそくの長さの関係を表す式

23.7%

A の例：点 P と点 Q を通る直線のグラフをかき、 x 軸と交わるときの x 座標を読み取る。
B の例：点 P と点 Q を通る直線を一次関数の式で表し、その式に $y=0$ を代入して x の値を求める。

(8) 中学校理科

- 1 手洗い場で手を洗っている太郎さんは、後ろに並んでいる同じクラスの一郎さんと次の会話1をしています。

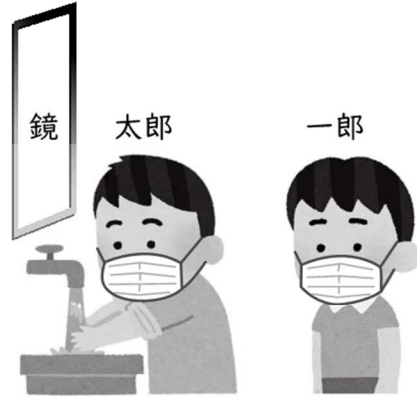
会話1

太郎 今日の授業で、光の反射の法則についてよく分かったよ。

一郎 太郎さんが鏡のどこにうつって見えるかは、その法則で説明できるね。

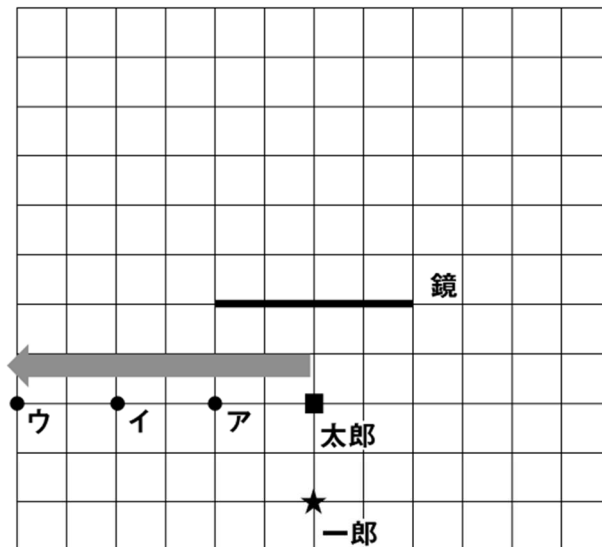
太郎 僕が真横に移動したとき、どこまで移動したら、鏡にうつっている僕が、一郎さんから見えなくなるのかな。

一郎 太郎さんが真横に移動したときに、鏡にうつっている太郎さんが見えなくなる位置を図にかいて考えてみよう。



- (2) 太郎さんが矢印(←)の方向へ順に移動していくようすを一郎さんから見たとき、鏡にうつっている太郎さんが見えなくなるのは、次の図3で太郎さんがどの位置まで移動したときですか。下の1から6までの中から1つ選び、番号で答えなさい。

図3



- | | | | |
|---------------|-------|--------|-------|
| 1 太郎さんとアの間の位置 | 3.2% | 2 アの位置 | 4.5% |
| 3 アとイの間の位置 | 37.6% | 4 イの位置 | 23.1% |
| 5 イとウの間の位置 | 24.7% | 6 ウの位置 | 6.5% |

(9) 中学校英語

〈(1)は放送問題〉

- 9 ALTのベーカー先生(Mr. Baker)が、英語の授業をしています。「いろいろな国の人と一緒に暮らしていこう」を学習目標に、下の資料1(市役所内看板の写真)、資料2(福井県に住んでいる外国人のアンケート回答)を見ながら、これからの福井について考えることになりました。

これから流れる会話は、ベーカー先生と朝美(Asami)との授業中のやり取りです。資料と会話の内容をふまえて、あとの(1)、(2)の問いに答えなさい。

放送による会話と問いは、このあと3分後に流れます。それまでに、資料1、2と(1)、(2)の問いを確認しておきなさい。会話と選択肢は、2回流れます。放送中にメモを取ったり、資料を見たりしてもかまいません。

資料1 市役所内看板の写真



資料2 福井県に住んでいる外国人のアンケート回答

It is sometimes difficult to read and write Japanese. When I go to hospitals and City Hall, I don't know what to do because I can't read *kanji*.

I want to experience Japanese culture, and my family hopes to communicate with Japanese people. I want to join festivals and events in Fukui, but I don't know how to do it. What should I do?

(注) join 参加する

(「福井県多文化共生推進プラン」(福井県HP)、「越前市多文化共生推進プラン」(越前市HP)より作成)

- (2) 会話の最後にベーカー先生が質問したことに対して、あなたならどのように答えますか。次の指示に従って英語で書きなさい。

指示

- ① 会話や資料から考えたことを書くこと。
- ② 15語以上の英語で書くこと。(文の数は指定しない。)
※ 短縮形(I'mやdon'tなど)は1語と数え、符号(、や?など)は語数に含めない。
(例) No, I'm not. 【3語】

(正答例) I want to teach foreign people Japanese, and I can study a lot of subjects with them. 27.0%

放送問題原稿は、裏面をご覧ください。

放送問題原稿 ③

10

次は9番です。

A L Tのベーカー先生 (Mr. Baker) が、英語の授業をしています。「いろんな国の人と一緒に暮らしていこう」を学習目標に、下の資料1 (市役所内看板の写真)、資料2 (福井県に住んでいる外国人のアンケート回答) を見ながら、これからの福井について考えることになりました。

これから流れる会話は、ベーカー先生と朝美との授業中のやり取りです。資料と会話の内容をふまえて、あとの(1)、(2)の問いに答えなさい。放送による会話と問いは、このあと3分後に流れます。それまでに、資料1、2と(1)、(2)の問いを確認しておきなさい。会話と選択肢は、2回流れます。放送中にメモを取ったり、資料を見たりしてもかまいません。では、問題文と資料を確認しなさい。

11

(-間3分-)

12

今から流れる会話は、ベーカー先生と朝美との授業中のやり取りです。まず、資料1について話をしています。

(-間1秒-)

12 続き、16

Mr. Baker: Look at this picture. You can see this in City Hall in Fukui.
 Asami: Wow! I can see many languages on the picture.
 Mr. Baker: This picture is very good for foreign people.
 Asami: For foreign people? Do many foreign people live in Fukui?
 Mr. Baker: Yes. They are from 78 different countries.
 Asami: Wow! From many countries!
 Mr. Baker: That's right. The city in Fukui tries to help them. Some cities in Japan try to help foreign people in easy Japanese, too. For example, Hirosaki City uses the words, *hinan surutokoro*, and it means *hinan basho*.
 Asami: That's nice. Do foreign people live in Fukui without problems?
 Mr. Baker: Well, they have some problems.

(-間2秒-)

つづいて、資料2を見ながら話しています。

(-間1秒-)

Mr. Baker: Look at this paper.
 Asami: Foreign people have some problems in their lives.
 Mr. Baker: Yes. My Chinese friend lives in Fukui with her family. Her daughter can't enjoy her school life. She wants to learn many things, but it's difficult to read Japanese books. I hope some people will help her when she studies at school.
 Asami: Now I think it is important to know about problems of foreign people and help them because we live together in Fukui.
 Mr. Baker: I hope so. I read an article about foreign people in Fukui. According to it, about 70 percent of them want to live in Fukui in the future.
 Asami: Why do they think so?
 Mr. Baker: Because people in Fukui are kind and Fukui has a lot of nature.
 Asami: I'm happy to hear that. I learned a lot about foreign people in Fukui today. I want to do something for them.
 Mr. Baker: Well, what do you want to do?

(-間2秒-)

13

17

では、14ページの(1)を見なさい。今から放送される選択肢1から4までの中から、会話や資料の内容と合っているものを1つ選び、番号で答えなさい。

(-間1秒-)

14

18

- 1 Mr. Baker doesn't know about foreign people in Fukui.
- 2 The daughter of Mr. Baker's friend can read Japanese books easily.
- 3 Some Japanese cities hope foreign people can live without language problems.
- 4 Mr. Baker says all foreign people want to live in Fukui.

(-間5秒-)

15

繰り返します。(間1秒後、会話と問いを繰り返す。)

(-間5秒-)

19

以上で放送による問いを終わります。続いて(2)に取り組みなさい。

(10) S A S A と質問調査との相関

小学校

【分析②】 学習に粘り強く取り組み、やり抜く力を問う質問に肯定的な回答をした児童ほど、4教科の平均正答率が高い傾向にある。算数では平均正答率との相関がやや強い。

質問 37 すぐに解けない問題でも、ねばり強く解こうとしていますか。

選択肢の割合 (%)



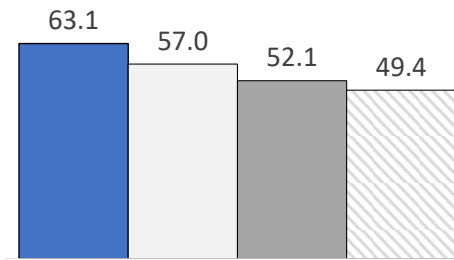
■ している

□ だいたいしている

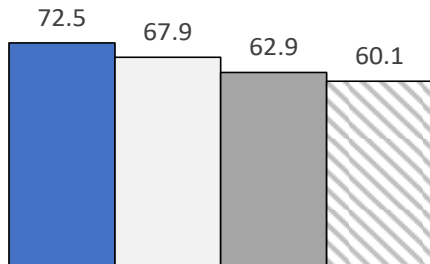
■ あまりしていない

□ していない

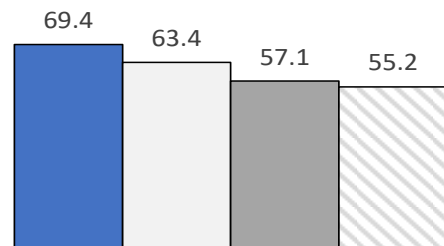
選択肢ごとの平均正答率 (4教科) (%)



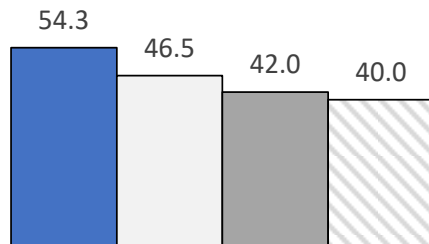
選択肢ごとの平均正答率 (国語) (%)



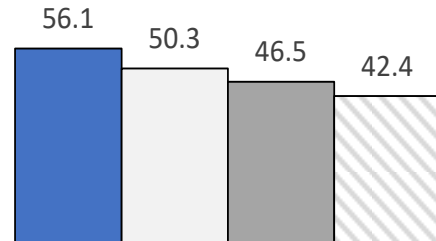
選択肢ごとの平均正答率 (社会) (%)



選択肢ごとの平均正答率 (算数) (%)

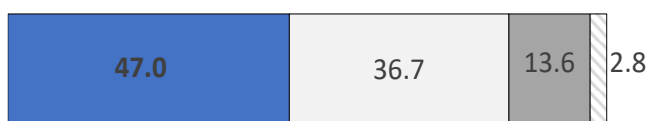


選択肢ごとの平均正答率 (理科) (%)



質問 38 分からなかった問題を納得するまで調べたり、人に聞いたりして、分かっていきますか。

選択肢の割合 (%)



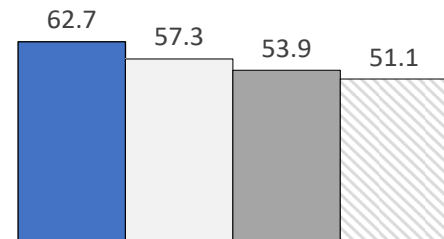
■ している

□ だいたいしている

■ あまりしていない

□ していない

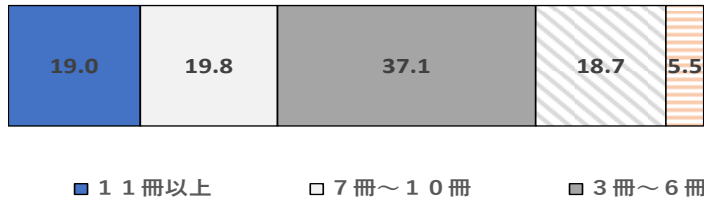
選択肢ごとの平均正答率 (4教科) (%)



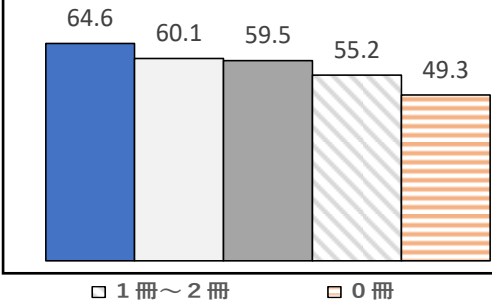
【分析④】最近1か月ほどの読書量（電子書籍・マンガ・雑誌を除く）を問う質問で、読書量が多い児童ほど、4教科の平均正答率が高い傾向にある。特に国語と社会では平均正答率との相関がやや強い。

質問 29 最近1か月ほどの期間で、何冊くらい本を読みましたか。（電子書籍、マンガ、雑誌をのぞく）

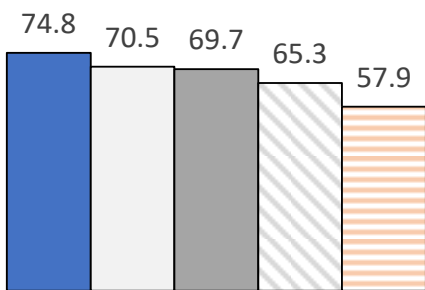
選択肢の割合 (%)



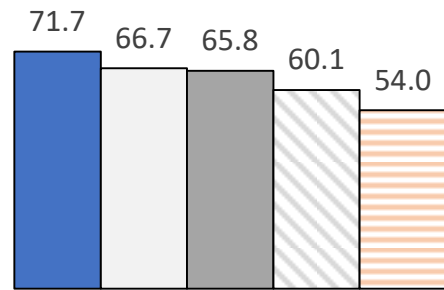
選択肢ごとの平均正答率（4教科） (%)



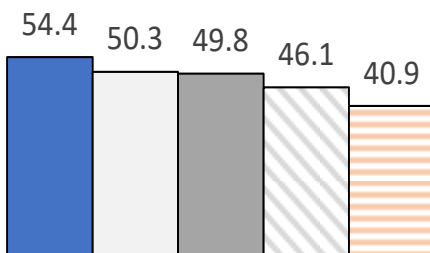
選択肢ごとの平均正答率（国語） (%)



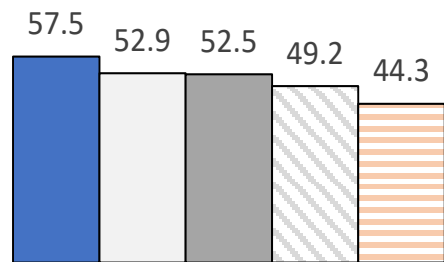
選択肢ごとの平均正答率（社会） (%)



選択肢ごとの平均正答率（算数） (%)



選択肢ごとの平均正答率（理科） (%)

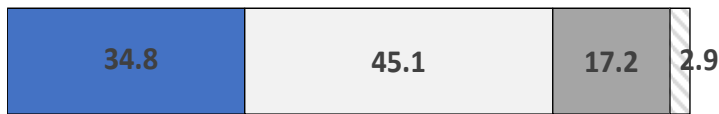


中学校

【分析②】学習に粘り強く取り組み、やり抜く力を問う質問に肯定的な回答をした生徒ほど、5教科の平均正答率が高い傾向にある。数学では平均正答率との相関がやや強い。

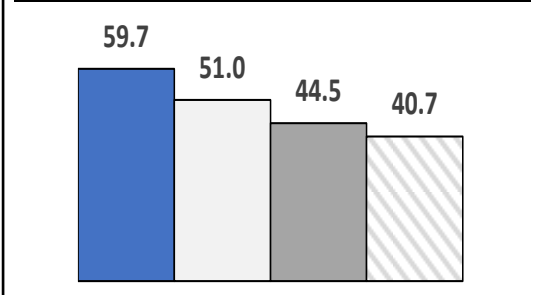
質問 38 すぐに解けない問題でも、ねばり強く解こうとしていますか。

選択肢の割合 (%)

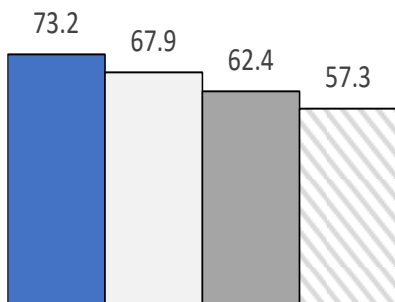


■ している □ だいたいしている ■ あまりしていない □ していない

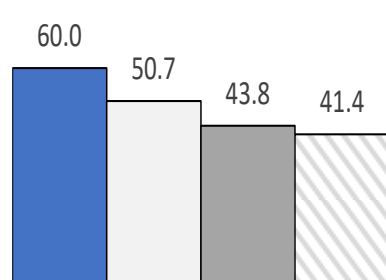
選択肢ごとの平均正答率 (5教科) (%)



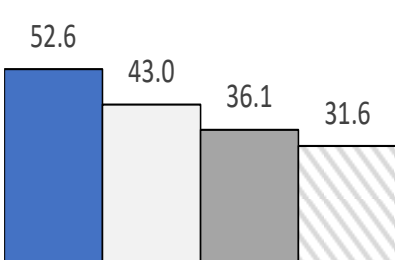
選択肢の平均正答率(国語) (%)



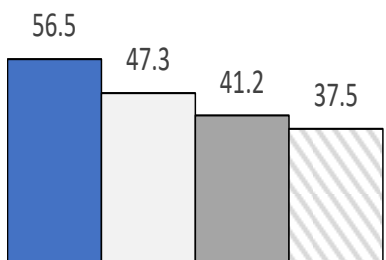
選択肢の平均正答率(社会) (%)



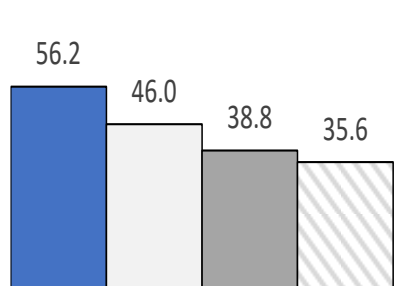
選択肢の平均正答率(数学) (%)



選択肢の平均正答率(理科) (%)



選択肢の平均正答率(英語) (%)



質問 39 分からなかった問題を納得するまで調べたり、人に聞いたりして、分かろうとしていますか。

選択肢の割合 (%)

選択肢ごとの平均正答率 (5 教科) (%)

